

【用語の説明】

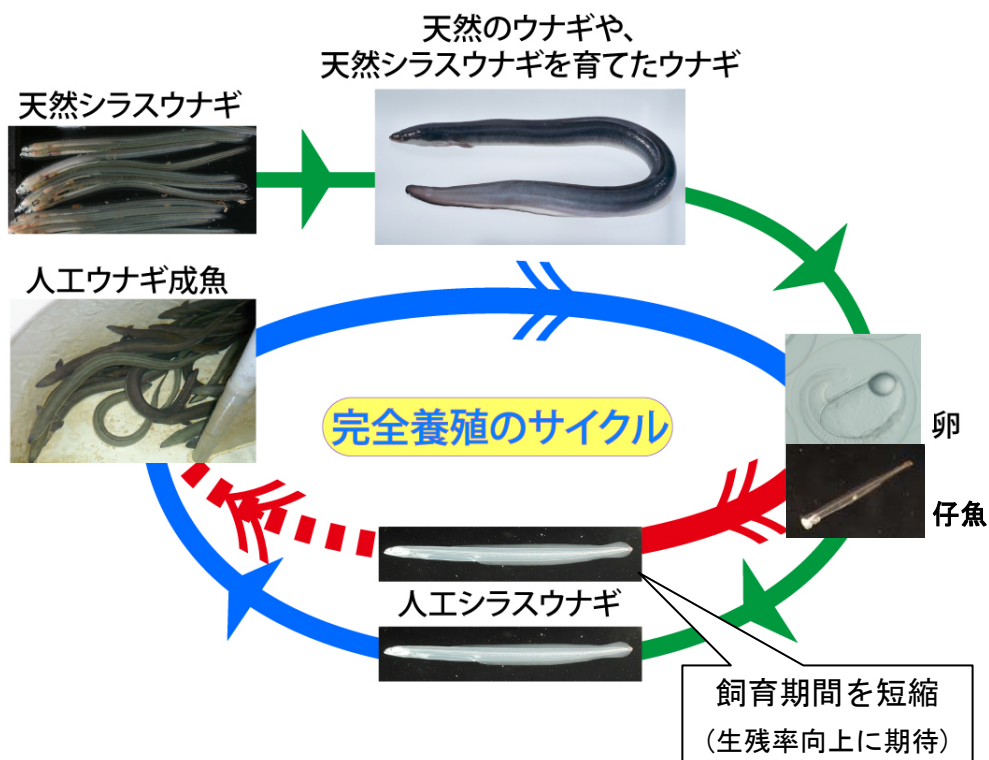
**完全養殖** 対象となる生物の生活史(卵→仔魚→稚魚→親魚→成熟・産卵)を人工飼育下で完結させること。

**ウナギ仔魚** 稚魚に変態する前のレプトセファルスと呼ばれる段階のウナギ。透明な柳の葉のような特徴的な形をしていることから葉形仔魚とも呼ばれる。

**シラスウナギ** ウナギの稚魚。レプトセファルスが成長し、親と同じ体型に変化した直後のもの。全長は 50~60mm。現在は、沿岸や河口域に来遊する天然シラスウナギを捕らえて養殖用としている。

(参考)

当センターでは、2002 年に卵から人工シラスウナギまでの飼育に成功し(緑色の実線)、さらに 2010 年には、人工親魚から得た卵をふ化させて「完全養殖」に成功しました(青色の実線)。今回は、完全養殖ウナギの仔魚がシラスウナギに成長したものです(赤色の実線)。今後は、これらを親魚に加えて量産技術の開発に重点的に取り組めます。



ウナギ完全養殖サイクルと今回成果の位置づけ



シラスウナギに成長した完全養殖ウナギ第1号